



雀宮の魅力を発信!



雀だより

2024年(令和6年)1月25日発行

第65号

チュンチュン



小中学生の作品展



地域の皆さんの力作

第50回 雀宮地域文化祭・収穫祭

11月11日(土)・12日(日)

11月11日・12日の両日、雀宮地域文化祭・収穫祭が雀宮地区市民センターで開催されました。

今回はコロナ禍以前のようにアトラクションや食べ物を売る模擬店も復活し、また、雀宮郷土史研究会による史跡めぐりや第50回記念の落語会『雀宮寄席』も行われました。当日は急に訪れた真冬のような寒さにもかかわらず朝から多くの人々が訪れ、野菜販売や温かい食べ物の売店の前には長蛇の列ができ、大盛況でした。

なお、開催に当たっては、多くの地域団体のボランティアスタッフのほか、雀宮中学校32名、宇都宮南高等学校、宇都宮工業高等学校の生徒さんたちの協力がありました。



地元野菜の販売



飲食店也大繁盛



手作り教室



落語会も好評



宇工高によるLRT



各種アトラクション

第14回 雀宮ちゅんちゅんウォーク大会

11月5日(日)



みんなで元気に!

11月5日(日)、恒例のちゅんちゅんウォークが開催されました。3・6・10・15kmのコース毎に受付を済ませた後、順次出発し、544名の参加者が完歩しました。

ゴール後には、甘酒が振る舞われ、また、くじ引きは各自で商品を受け取る方式に変更して実施しました。今年は例年に比べ11月に入っても気温の高い日が続いていたので心配されましたが、当日は暑くもなく寒くない絶好のウォーキング日和に恵まれ、皆、爽やかな秋の景色を楽しみながら歩いていました。地元の消防団・交通安全協会・スポーツ協会・雀宮中学校の生徒さんなどのボランティアスタッフ170名余の力で無事成功させることができました。



いってらっしゃーい!



がんばって歩こう!



ここで休憩



横断気を付けて!

もくじ

- 地域の皆さんの活動を紹介! 雀アラカルト 2
- 地域の自治会を紹介します「針ヶ谷中自治会」 4
- 雀宮の歴史・史跡コーナー「天狗原遺跡」 4



雀だより「チュンチュン」は年3回発行します



雀宮映画祭第1弾 「くちびるに歌を」を上映しました。

9/2
土

9月2日(土)、市立南図書館サザンクロスホールにて「雀宮映画祭」が開催され、約170名の来場者が映画を楽しみました。

上映作品「くちびるに歌を」は、母校の代理音楽教師として数年ぶりに故郷に戻ってきた主人公が、生徒への宿題「15年後の自分への手紙」をきっかけに15歳の生徒たち、そして閉ざしていた自分自身の心を動かしていく感動作です。

今回もボランティアスタッフとして、雀宮中学校の3年生6名がアナウンスや受付など当日の運営を手伝ってくれました。

ボランティアに参加してくれた中学生は「今日のボランティア活動でちょっとでも地域の役に立てたならうれしいです。とてもやりがいがありました」「映画を楽しんでいる皆さんを見ていたら、雀宮は素敵な地域だなと思いました」「新型コロナのため、これまでは地域の方々と触れ合える機会を得られなかったけれど、こういった機会をいただけてうれしいです」と話していました。

皆さんの笑顔があふれる夏の一日でした。



雀宮地区健康・福祉まつりが開催されました。

10/8
日

やっと秋の気配を感じられるようになった10月8日(日)、雀宮地区市民センターで雀宮地区健康・福祉まつりが開かれました。昨年はコロナ禍で規模を大幅に縮小して行われましたが、今年は模擬店は多少減ったものの、以前のような賑わいが戻ってきました。

屋外では、飲食スペースからステージが見やすいようにテーブルと椅子を配置したため、お客様は飲食しながらゆっくりアトラクションを鑑賞することができました。また、模擬店にも多くの人が訪れ買い物を楽しんでいました。

屋内では、小中学生や地域の方々作品展、手話教室、福祉施設紹介コーナー、健康チェックコーナーなどが開設され、多くの人が見学・参加していました。



育成会が野外体験活動を実施しました。

10/21
土



雀宮地区青少年育成会(布野俊一会長)では、10月21日(土)に那須烏山市の「烏山和紙の里」と大田原市の「なかがわ水遊園」を訪れる「野外体験活動」を行い、4年生以上の会員23名が参加しました。「和紙の里」では、紙漉(す)き体験で柄入りと柄なしの2種類のはがきを作りました。最初は恐る恐るでしたが、すぐに慣れて仲間と楽しそうに取り組んでいました。作成したはがきが手元に届くのは2週間後だそうです。「なかがわ水遊園」では、ゲーム大会・昼食の後に水族館と展示コーナーを見学しました。参加した皆さんは、「楽しかった」「また参加したい」と満足そうに話していました。

4年ぶり! 地域活性化イベント「ムラスズメ」が復活!

10/21
土

10月21日(土)、雀宮地区の住民有志で結成する「群雀(むらすずめ)」(代表/正光寺)は、地域活性化イベント「ムラスズメ」をJR雀宮駅東口で開催しました。2019年まで同駅西口で行われていたイベント「夜祭(よまつり)」を復活、飲食や物販など約40のブースの出店に地域子ども食堂の連携エリア、プロレスや音楽ステージ、花火などで会場を盛り上げ、5,000人以上の来場者で賑わっていました。代表は「地域の皆さんの協力や地元の企業協賛などがあって、みんなが楽しめてまちが一体となるイベントが復活できました。地元雀宮の魅力を高め、地域のつながりを深めるために今後も続けていきたい」と話していました。



第42回雀老連スポーツ大会が開催されました。

10/25
水

雀宮地区老人クラブ連絡協議会(松田一郎会長)主催によるスポーツ大会が10月25日(水)、雀宮体育館広場において、4年ぶりに開催されました。

参加クラブ17、参加人員約500名が集い、準備した9種目に招待者を含めほぼ全員が参加し、競技参加者への声援、入賞景品受領の笑顔の中、無事に終わることができました。

4年ぶりの開催でしたが、競技の進行、器具の準備、景品のお渡し等がスムーズに行われていました。



伝統の「雀宮史跡巡り」を行いました。

11/12
日



雀宮郷土史研究会(沢田寿幸会長)は、11月12日(日)に開催された雀宮地区文化祭・収穫祭のイベントとして、伝統の史跡巡りを行いました。

応募された24名の参加者の皆様とともに雀宮地域南東部の6か所の史跡を巡り、古墳時代から続く雀宮の歴史の深さを再認識しました。

特に、全長102mの県内最大級の笹塚古墳の見学や、「糲摺り騒動」として伝えられている江戸時代の百姓一揆を指導し、藩の増税を防ぎ村人を救った郷土の義人・鈴木源之丞の供養塔見学など、充実した史跡巡りとなりました。

「子どもの居場所 こどもてらす」のクリスマスの集い!

12/17
日

NPO法人雀宮まちづくりプロジェクトが運営する「子どもの居場所 こどもてらす」では、12月17日(日)午後1時から、JR雀宮駅前の旧Jビルでクリスマス会を行いました。

事前予約制で子どもは参加費100円、子どもが約50名、保護者が10名ほど集まり、ボランティアスタッフ18名の協力の下、楽しい企画が満載でした。

最初に「こどもてらす」で育てた稲穂を使ったお正月飾りを作り、次にじゃんけん勝ち抜きゲームで盛り上がり、お楽しみのおやつバイキング、ハーブを使ったクリスマスクラフト作り、最後にビンゴゲームでテンションが上がり、楽しいクリスマスイベントが終了しました。



「ちゅんちゅんこども食堂すずめのす・まなびのす」のクリスマス会

12/25
月



12月25日(月)午後6時30分から「ちゅんちゅんこども食堂すずめのす・まなびのす」のクリスマス会が開かれ、親子連れなどおよそ170名が訪れました。親子でクリスマスの食事を楽しんだほか、お菓子釣り・ルーレット・サンタさんとのじゃんけん大会などのゲームでプレゼントを受け取り、クリスマスソングが流れる中、ワイワイと賑やかに過ごしていました。

小中学生・大学生・社会人などのボランティアスタッフ29名の協力をいただき、今年も思い出に残る楽しいイベントになりました。

詳細はホームページをご覧ください

雀宮地域の情報満載!!
ホームページに今すぐアクセス!

雀宮地域 検索

<https://www.suzumenomiya.com/>
さらに詳しい情報はこちらへ!

100%成績UP にこだわる塾

小 中 高 おうめい 学習コンシェルジュ

おうちで学べる個別指導

無料体験随時受付中!!

資料請求 お問合せ 0120-061-015

宇都宮市南高砂町7番8号

- 2月18日(日) チュンチュン子どもフェスタ
(雀宮地区市民センター)
- 3月10日(日) 雀宮地区防災訓練 (雀宮地区市民センター)
- 3月16日(土) 雀宮学校音楽祭
(南図書館サザンクロスホール)

02



雀宮の自治会を紹介します。

針ヶ谷中自治会

雀宮の西方にある針ヶ谷中自治会は、最近の加入者増で現在360世帯を超え、雀宮地区では中規模の自治会ですが、その歴史は長く、八幡神社を中心に発展して

きました。

針ヶ谷の地名の由来は、今から約一千年前、針ヶ谷備中守が統治したことによる、と八幡神社入口の碑に記されています。そして、針ヶ谷八幡神社は平安時代の寛治5年(1091年)5月堀河天皇の御代からの命により嘉保元年(1094年)8月1日に一社を設けたとの記録が残されています。

年月を経て、明治20年(1887年)に地元の方から土地が寄進され、明治30年(1897年)に雀宮村立雀宮尋常小学校の針ヶ谷分校である「雀宮尋常小学西校」が設立されました。昭和44年(1969年)に分校が廃止になった後、校舎は自治会の公民館として利用されてきましたが、平成12年(2000年)針ヶ谷中公民館が建築され、現在に至っています。

ここ数年はコロナ禍により行事を中止していましたが、昨年より従来の行事内容に戻りつつあります。

年間行事は子ども神輿や本格的な土俵での子ども相撲、収穫祭など神社由来の行事が主で、地域の皆さんや子どもたちに親しまれた活動が続いています。

また、自治会内には総務部、交通安全部、男子防犯部、女子防犯部、リサイクル部と5つの部があり、それぞれの役割を担って定期的に活動を続けてきました。

針ヶ谷中自治会を担ってきた高齢者の方々や自治会員の方々そしてこれからの子どもたちのために、自治会の行事や活動を通して地域に貢献できる自治会を目指していきたいと思えます。(監修・協力:針ヶ谷中自治会)



八幡神社



子ども夏祭り

歴史ある雀宮地区の史跡などを紹介するコーナーです。

雀宮の歴史・史跡

24 天狗原遺跡

本遺跡は、現在「天狗原雀宮中前遺跡」として宇都宮市遺跡台帳に登録されています。かつては雀宮中学校の敷地周辺を含む地域が天狗原遺跡と呼ばれていたことから、ここでは「天狗原遺跡」として紹介します。

天狗原遺跡は「下野中原遺跡調査概報」(1939年)に紹介されるなど、戦前から知られていました。発掘当時この地域の宅地化により開発が進みつつあったことから、遺跡の調査が平成3年12月(1次)と平成4年4月~7月(2次)に行われました。

第1次調査の比較的狭い区画(764㎡)では遺構等はありませんでしたが第2次調査(4,500㎡)では、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての竪穴式住居跡14軒、円形周溝遺跡1基、土坑7基の埋蔵物が確認されました。

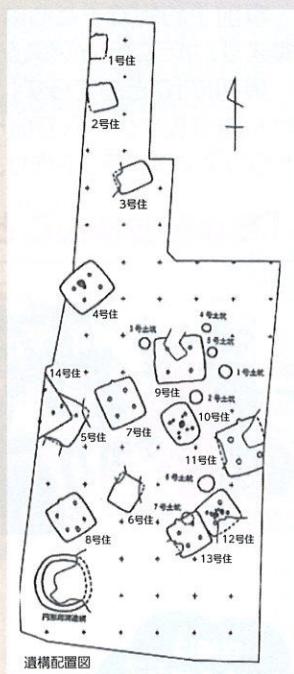
竪穴式住居についてみると、4・5・12号の3軒は古墳時代前期、1・2・3・7・8・9・11・13号の住居跡は古墳時代後期のものと考えられています。同時に、この遺跡からは数多くの土器や打製石斧などが見つかっています。



調査区周辺図 1:5,000



全景写真(北から)



遺構配置図

<参考文献>

- 「宇都宮市文化財年報 第8号 平成3年度」宇都宮市教育委員会(平成4年)
- 「宇都宮市埋蔵文化財調査報告書 第34集」宇都宮市教育委員会(平成6年)

表紙のことば

新型コロナが5類に移行してから、地域の行事やイベントなどが少しずつ復活してきました。

雀宮地区においても、この秋「健康・福祉まつり」「ちゅんちゅんウォーク」「文化祭・収穫祭」などが徐々に元の内容を取り戻し、模擬店やアトラクションなども復活し活気あふれるイベントに戻ってきました。

これからも、安心して地域の交流やイベントができるような平和な世の中であってほしいと切に願います。

雀宮地区の人口

(令和6年1月1日現在)

- 人口 40,300人
- 男性 20,019人
- 女性 20,281人
- 世帯数 17,473世帯

[編集・発行]

雀宮地区まちづくり推進協議会
(雀宮地区市民センター内)
〒321-0133
宇都宮市新富町9番4号

mail u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp
TEL 654-1013
FAX 653-5646